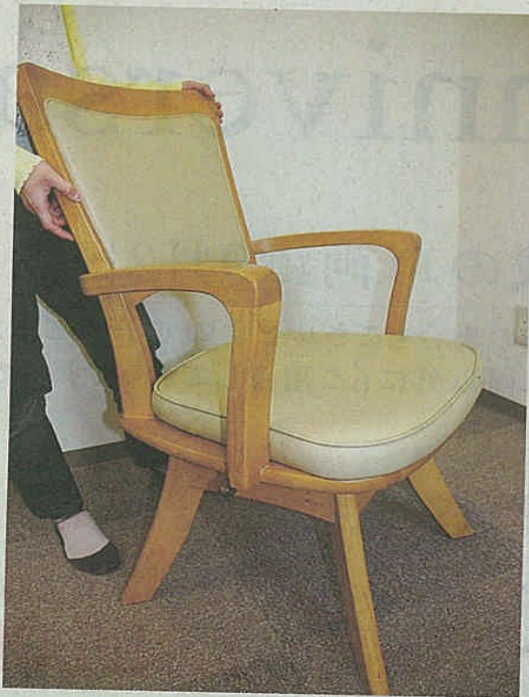


しげひこの これは助かる!

テーブルで食事をする時、私たちは食べやすいように、いすの位置をテーブルに近づけたり、遠ざけたりします。食事の際には欠かせない動作です。

ところが、身体が不自由になると、家族や介護スタッフなどが位置を調整することになります。この動作によって、介護する人が腰を痛めてしまうことがあります。人が座ったまま無理に動かすと、いすが壊れることもあります。

回転いす



食事の際の動作に便利

今回は、座面が回転するいすを紹介いたします。まず適切な位置にいすを設置して、座面を横や後ろに回転させておきます。本人が座ったらテーブルに向けて回転させます。こうすれば、

いすごと動かす必要がありません。

よくある回転いすは、座

ろうと手をかけると座面が回ってしまいますが、この

いすは自動ロックがあり、90度ごとにカチッと止まり

ます。安心して立ち座りできますね。ロックの解除は簡単にできます。

座面の高さは44センチと38センチの2タイプあり、重さはそれぞれ13キロと11キロ。幅はいずれも56センチ。素材はラバーウッド。座面の張り地は合成皮革。簡単な組み立てが必要で、3万1290円。(岡田しげひこ・理学療法士)

▽問い合わせ先 日本福祉用具供給協会道支部事務局 ☎011・663・0732。受け付けは平日の午前9時～午後5時。商品については注文が集中し、対応に時間がかかることもあります。